



2021年4月30日

2021年4月9日 仏ブローニュ発  
日本語参考訳

アトス、ダッソー・システムズ、ルノーグループ、**ST**  
マイクロエレクトロニクス、タレスの**5**社が、  
ソフトウェア・リパブリックを共同設立  
インテリジェントで持続可能なモビリティのための  
オープンなエコシステム

- 業界のリーディングカンパニー各社による新しいエコシステム
- 欧州のデータ主権と新しい価値提案を賭けた問題提起
- オープンなコラボレーションを提唱、広く参加を呼びかけ
- 各社のテクノロジーに基づく**2**つの提案を明らかに

アトス、ダッソー・システムズ、ルノーグループ、ST マイクロエレクトロニクス、タレスの各社は同日、インテリジェントモビリティの革新に向けた新たなエコシステム、ソフトウェア・リパブリック ([Software République](#)) の設立に向けて協力することを発表しました。システムやソフトウェアの共同開発と市場展開に向けて各社の専門性を結集し、都市、地域、企業、そして人々に向けて、豊かで持続可能なモビリティを提供します。

インテリジェントモビリティにおける製品やサービスの実現には、AI（人工知能）、サイバーセキュリティ、コネクティビティ、組み込みシステム、バーチャルツインなどの様々な技術が必要です。今回発表したオープンなエコシステムは、自動車業界およびテクノロジー業界のリーディングカンパニー5社が共同で設立するもので、今後もオープンなコラボレーションに向けた新しいメンバーの参加を歓迎します。

#### データ主権をめぐる問題

モビリティは変化し、新たな機会を創出しています。ポストン コンサルティング グループによると世界のモビリティ市場は2035年までに60%成長し、11兆ユーロに達すると予測

されます。この成長は電気自動車、新しいコンポーネント、新しいアフターサービスやその他の付加価値サービスなどの新技術によって牽引されており、これらの新技術が世界のモビリティ市場に占める割合は、5% から 45% にまで拡大すると考えられています<sup>1</sup>。各国の主要な産業プレーヤーはすでに、国家的な支援を受けながら、強化された統合戦略を通じて、これらの破壊的新技術の開発に向けて盤石な地盤を築いています。そこでソフトウェア・リパブリックの設立メンバー各社は、フランスおよびヨーロッパ諸国がこれら破壊的新技術の領域においてデータ主権を確保するために、持続可能なエコシステムを各社共同で、緊急に構築すべきであることを表明します。

### 3つの主要な協力分野

インテリジェントモビリティシステムの共同開発と展開、ならびにそれらに適応したモビリティ製品やサービスの迅速な提供を目指し、ソフトウェア・リパブリックの設立メンバー各社は、以下の主要な3分野において協力します。

- 自動車とその環境 (デジタルおよびリアルの双方) をセキュアかつシームレスにつなぐインテリジェントシステム
- 地域間、企業間の物流を最適化するためのシミュレーションおよびデータ管理システム
- 充電体験をシンプルにするためのエネルギーエコシステム

ソフトウェア・リパブリックでの目下の議案として以下の2つがあげられます。

#### プラグアンドチャージ

電気自動車を (対応する) 充電ポイントに接続するだけで、ポイント側が自動車を自動認識し、ドライバーが何もしなくても充電が開始されるような新技術やサービスの開発

#### 対象地域の物流の最適化

対象となる都市間や地域間で、モビリティ情報の交換やそれに基づくシミュレーションを即時かつオープンに行うことで、以下を実現します。

- 利用者は、所用時間、快適性、エネルギー管理に応じた最適な移動手段を常時選択できるように
- 事業者はより充実したモビリティサービスを提供できるように
- 公共サービス機関は、モビリティサービスに関する複数のシナリオ (緊急事態発生時、イベント開催時など) のシミュレーションや実地展開が可能に
- 都市計画担当者は、土地の利用計画がより容易に

また、さらなるイノベーションに向けて、ソフトウェア・リパブリックでは、極めて有望なスタートアップを支援する投資ファンドや、スマートモビリティ技術の分野でスタートアップを育成するインキュベーター組織の設立を目指しています。インキュベーター組織では、スタートアップ各社は開発および実験にバーチャル環境を利用できるほか、バリューネットワークを通じて各社からの指導を受けることもできます。スタートアップや大学を対象とし

たエコシステムを立ち上げるにあたり、ソフトウェア・リパブリックのメンバー企業は、電気自動車、コネクティビティ、自律走行といった未来のモビリティのための技術開発に貢献するため、データチャレンジの開催を計画しています。

アトスの CEO である Elie Girard 氏は、次のように述べています。「当社がソフトウェア・リパブリックの創設メンバーの一員に加わったことを誇りに思います。私たちは、テクノロジークリエイターとして、また複合ソリューションのインテグレーターとして、この唯一無二のエコシステムに、二酸化炭素の排出の削減に関するデジタル分野の専門知識や、人工知能、デジタルセキュリティ、クラウド、IoT、ハイパフォーマンス・コンピューティングなどの主要分野における革新的な技術を提供します。世界有数の自動車メーカーおよびテクノロジー企業 5 社の力を結集したこのイニシアチブは、モビリティの脱炭素化を加速させることを約束します」

ダッソー・システムズの取締役副会長 兼 最高経営責任者であるベルナール・シャーレスは、次のように述べています。「自動車業界という枠をはるかに超えて、持続可能な経済の一部を成す仕事や余暇に大きくかかわるモビリティとは、今後どのように使われていくべきか、という考え方が問われています。今日のエクスペリエンス・エコノミー（経験経済）は、世界規模で進むインダストリー・ルネサンス（産業の再定義）と密接に関係しています。新しいモビリティ経済は、デジタルプラットフォームをベースにした革新的でコラボレーティブなバリューネットワークへと編成されていくでしょう。その中でソフトウェア・リパブリックは、イノベーションを加速し、未来への原動力を育むことを目的とした、複数の産業と複数の専門分野を集結したエコシステムといえます。その実現のためには、ダッソー・システムズの 3DEXPERIENCE プラットフォームが提供するコラボレーティブなバーチャル環境と、バーチャルツイン技術が必要になるでしょう。また、3DEXPERIENCE Lab への参加によりスタートアップ企業はアクセラレーター・プログラムからの恩恵も受けられます」

ルノーグループの CEO である Luca de Meo 氏は、次のように述べています。「新しいモビリティのバリューチェーンでは、インテリジェントな車載システムが新たな原動力となり、そこにすべての研究と投資が集中しています。この技術的な挑戦に直面して、私たちは共同かつオープンにプレイすることを選択しています。誰かが中心になるということではなく、それぞれの価値は他のものと掛け合わされることとなります。サイバーセキュリティ、マイクロエレクトロニクス、エネルギーおよびデータマネジメントなどの専門知識を組み合わせることで、低炭素で、シェア可能な、責任あるモビリティのための、かつてない最先端の欧州製ソリューションを開発することができるのです」

ST マイクロエレクトロニクスの CEO である Jean-Marc Chery 氏は、次のように述べています。「当社は、この度ソフトウェア・リパブリックに参加し、自動車やモビリティサービ

スの電動化やデジタル化のための革新的な半導体製品やソリューションを提供していきます。当社のノウハウは、環境への影響という観点でステークホルダーの期待に沿った、より効率的なソリューションへの継続的な変革を可能にします。このプロジェクトの中心となるパートナーシップは、バリューチェーン全体のつながりを強化します。これは、この産業の変革期における重要な要素なのです」

タレスの CEO である Patrice Caine 氏は、次のように述べています。「ソフトウェア・リパブリックは、モビリティのエコシステムに欠かせない、共同で革新的な勢いをもたらします。輸送、銀行、防衛、航空宇宙など、非常に要求の厳しい市場でのデジタルセキュリティにおける実績に基づき、当社は人工知能、サイバーセキュリティ、相互通信能力における専門知識を共有し、自動車とそのデータ、そしてモビリティに関わる人々の安全対策を強化していきます」

ソフトウェア・リパブリックの拠点は、ギューヤンクール（フランス）のルノーテクノセンターにある「Odysée」棟となります。「Odysée」棟は 12,000m<sup>2</sup> の広さを持つ近代的で環境に配慮した空間です。内外装ともに 100% 木材を使用しており、一般的な建物と比較して 1m<sup>2</sup> あたり 1 トンの CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) を削減し、1,000m<sup>2</sup> の屋根には太陽光発電パネルが設置されています。

<sup>i</sup> 出典: *Osons créer une «Automobile Valley» à la française*, Les Echos, August 20, 2020

Vanessa Lyon, Senior Associate Director, and Szymon Walus, Director, Boston Consulting Group & [By 2035, New Mobility Tech Will Drive 40% of Auto Industry Profits](#)

詳細はこちら：

ダッソー・システムズの 3DEXPERIENCE プラットフォーム、3D 設計ソフトウェア、3D デジタル・モックアップ、そしてプロダクト・ライフサイクル・マネジメント (PLM) ソリューション

<https://www.3ds.com/ja>

ダッソー・システムズとつながるソーシャル・アカウント

[Twitter](#) [Facebook](#) [LinkedIn](#) [YouTube](#)

(以上)

アトスについて

アトスは、105,000 人の従業員と 110 億ユーロ以上の年間収益を誇るデジタルトランスフォーメーションにおけるグローバルリーダーです。サイバーセキュリティ、クラウド、ハイパフォーマンス・コンピューティングの分野で欧州 No.1 である当グループは、世界 71 カ国であらゆる業界向けにカスタマイズされた一貫したソリューションを提供しています。脱炭素サービスおよび製品のパイオニアであるアトスは、お客様のためにセキュアで脱炭素なデジタル化を実現することを約束します。アトスは Atos と Atos|Syntel というブランドを運営してい

ます。アトスは欧州会社（Societas Europaea）で、ユーロネクスト・パリ証券取引所に上場しており、CAC40 株価指数の構成銘柄に組み入れられています。

アトスの目的 情報空間の未来をデザインすることです。その専門技術とサービスは、多文化的なアプローチで知識、教育、研究の進展を支え、優れた科学技術の発展に貢献しています。当グループは、世界中で、お客様や従業員、そして広く社会を構成するすべての人々が、安全で安心な情報空間の中で、持続的に生活し、働き、発展することを可能にしています。[www.atos.net](http://www.atos.net)

#### ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは 3DEXPERIENCE カンパニーとして、人々の進歩を促す役割を担います。当社は持続可能なイノベーションの実現に向けて、企業や人々が利用する 3D のバーチャル コラボレーション環境を提供しています。当社のお客様は、3DEXPERIENCE プラットフォームとアプリケーションを使って現実世界のバーチャル ツイン エクスペリエンスを生み出し、さらなるイノベーション、学び、生産活動を追求しています。ダッソー・システムズ・グループは 140 カ国以上、あらゆる規模、業種の 29 万社以上のお客様に価値を提供します。より詳細な情報は、[www.3ds.com](http://www.3ds.com)（英語）、[www.3ds.com/ja](http://www.3ds.com/ja)（日本語）をご参照ください。

3DEXPERIENCE、Compass アイコン、3DS ロゴ、CATIA、BIOVIA、GEOVIA、SOLIDWORKS、3DVIA、ENOVIA、EXALEAD、NETVIBES、MEDIDATA、CENTRIC PLM、3DEXCITE、SIMULIA、DELMIA および IFWE は、アメリカ合衆国、またはその他の国における、ダッソー・システムズ（ヴェルサイユ商業登記所に登記番号 B 322 306 440 で登録された、フランスにおける欧州会社）またはその子会社の登録商標または商標です。

#### ルノーグループについて

ルノーグループは、自らを改革するモビリティの最前線にいます。ルノーグループは、日産自動車、三菱自動車との提携や、電動化に関する独自のノウハウを活かし、Renault、Dacia、LADA、Alpine および Mobilize の 5 つの補完的なブランドで構成され、持続可能で革新的なモビリティ・ソリューションをお客様に提供しています。世界 130 カ国以上に拠点をもち、現在 18 万人以上の従業員を擁し、2020 年には 290 万台の車両を販売しています。

公道でも自動車レースでも飽くなき挑戦をいとわない ルノーグループは、価値創造を目指し意欲的な変革に取り組んでいます。これは、新しい技術やサービスの開発、そしてさらに競争力のあるバランスのとれた電動車両の新ラインナップが中心となります。環境問題への取り組みとして、当グループは 2050 年までに欧州でカーボンニュートラルを達成することを目指します。[www.group.renault.com](http://www.group.renault.com)

#### ST マイクロエレクトロニクスについて

ST マイクロエレクトロニクスは、最先端の製造施設において半導体のサプライチェーンを極めている 46,000 人の半導体技術の考案者および制作者集団です。独立系デバイスメーカーである ST マイクロエレクトロニクスは、10 万人以上のお客様や何千ものパートナーと協力して、お客様の課題や事業機会、そしてより持続可能な世界を支える必要性に応える製品、ソリューションおよびエコシステムを設計し構築しています。ST マイクロエレクトロニクスの技術は、よりスマートなモビリティ、より効率的な電力およびエネルギー管理、そして IoT と 5G 技術の広範な展開を可能にします。より詳細な情報は、こちらをご参照ください [www.st.com](http://www.st.com)。

#### タレスについて

タレス（ユーロネクスト・パリ証券取引所上場: HO）は先端技術のグローバルリーダーであり、社会の発展に欠かせない自信に満ちた未来を築くために、接続性、ビッグデータ、人工知能、サイバーセキュリティ、量子コンピューティングなど、デジタルと「ディープテック」のイノベーションに投資しています。タレスは、防衛、航空、宇宙、輸送、デジタルアイデンティティとセキュリティーの分野で、企業、組織、政府などのお客様に、すべての意思決定の原動力であるお客様個人への配慮とともに、重要な役割を果たすためのソリューション、サ

ービス、製品を提供しています。タレスは、68 カ国に 81,000 人の従業員を擁しています。2020 年、170 億ユーロの売上を達成しました。 [www.thalesgroup.com](http://www.thalesgroup.com)